

第6章 計画の推進に向けて

1. 数値目標

【たべて元気な体づくりの指標】

指標	対象	現状値	目標値	参考
「食事バランスガイド」の認知度	保護者	84.7%	90.0%	73.6% ^{※1}
	一般	60.1%	70.0%	
朝ごはんを毎日食べる者の割合	園児	93.8%	100.0%	92.5% ^{※1}
	小学生	93.4%	100.0%	
	中学生	86.0%	90.0%	
	一般	83.8%	90.0%	
よくかんで食べている者の割合	小学生	65.9%	70.0%	70.2% ^{※2}
	中学生	40.7%	50.0%	
よくかんで味わって食べるなど たべ方に関心がある者の割合	一般	61.0%	70.0%	

※1：愛知県「食育に関するアンケート調査報告書」（平成21年）

※2：内閣府「食育の現状と意識に関する調査」（平成22年）

【たべて豊かな心づくりの指標】

指標	対象	現状値	目標値	参考
朝ごはんを家族の誰かと食べる者の割合	園児	74.1%	80.0%	60.3% ^{※1}
	小学生	78.0%	80.0%	
	中学生	49.0%	60.0%	
	一般	64.5%	70.0%	
夕食を家族の誰かと食べる者の割合	園児	97.2%	100.0%	71.6% ^{※1}
	小学生	91.7%	100.0%	
	中学生	81.2%	90.0%	
	一般	70.9%	80.0%	
「食育の日」の認知度	一般	10.6%	30.0%	4.6% ^{※2}
農林漁業体験をしたことがある者の割合	一般	51.9%	70.0%	43.7% ^{※3}

※1：内閣府「食育に関する意識調査」（平成24年）

※2：内閣府「食育に関する意識調査」（平成19年）

※3：愛知県「県政モニターアンケート調査」（平成22年）

【環境にやさしい食づくりの指標】

指標	対象	現状値	目標値	参考
学校給食における地場産物を使用する割合	—	28.8%※ ¹	40.0%	26.1%※ ²
郷土料理の認知度	一般	36.2%	50.0%	—
食品廃棄減少のための取り組みを行っている者の割合	一般	55.9%	70.0%	43.0%※ ³
食の安全に関する知識を持っている者の割合	一般	28.7%	40.0%	37.4%※ ²
地元農水産物を購入する者の割合	一般	25.6%	40.0%	18.0%※ ⁴

※1：平成24年11月中旬における県内産物使用率（156品目中、県内の産物45品目使用）

※2：内閣府「食育の現状と意識に関する調査」（平成23年）

※3：愛知県「消費生活モニターアンケート調査」（平成22年）

※4：愛知県「県政モニターアンケート調査」（平成21年）

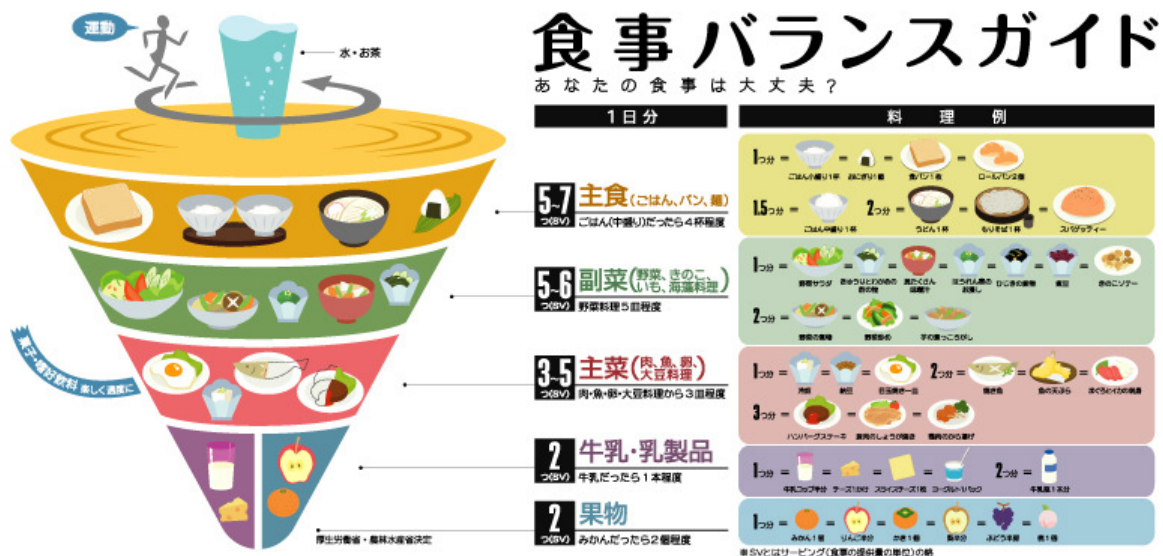
【全体にかかる指標】

指標	対象	現状値	目標値	参考
食育を実践している者の割合	一般	50.3%	60.0%	55.8%※ ¹
「たべたくん」の認知度	保護者	15.0%	30.0%	—
	小学生	65.9%	70.0%	
	中学生	37.3%	50.0%	

※1：内閣府「食育に関する意識調査」（平成19年）

◆ 食事バランスガイド ◆

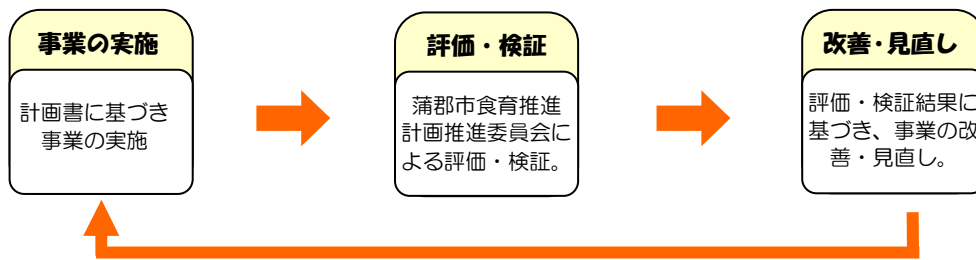
コマのイラストにより、一日分の食事を表現し、これらの食事のバランスが悪いと倒れてしまうことを表現しています。



2. 推進体制

(1) 進行管理

本計画を着実に推進していくためには、計画の進捗状況をチェックし、取り組み内容を修正するなど、柔軟に対応していくことが求められます。そのために、計画の策定後、事業を実施し、「蒲郡市食育推進計画推進委員会」において、その評価・検証を行い、事業の改善や見直しを行います。



(2) 食育推進のネットワークづくり

食育の取り組みは、地域やさまざまな団体がそれぞれ主体的に行っています。本市において、食育を一層推進していくためには、地域や各団体の連携を深め、それぞれが行っている取り組みをつなげていくことが必要です。

市民、地域・団体、生産者、食品事業者などで構築する食育のネットワークづくりを行い、本市が一体となって食育を推進していきます。

